

学校教育目標	商業に関する専門的な知識・技術を習得させ、知徳体の調和のとれた社会に広く貢献できる商業のスペシャリスト(有為な人材)を育成する。			重点目標	① 文武両道 高度な資格取得と全国レベルで活躍できる部活動の指導<挑戦する姿勢> ② 礼節 礼儀を重んじ「おもてなしのこころ」を身につけたコミュニケーション能力豊かな生徒の育成<人間性の醸成>
めざす学校像	① 明るく元気で生き生きとした学校 ② 地域に信頼される学校 ③ 知性と感性を磨く学校 ④ 教師が学び続ける学校	めざす生徒像	① 知性・感性豊かな生徒 ② 自律性豊かな生徒 ③ 社会性を身につけた生徒		

達成度	A・・・達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

自 己 評 価					学校関係者評価	総括	
番号	評価項目	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び取組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等	
1	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価と研究授業の実施を踏まえた授業改善。 3年間で一人全商1級を1つは取得させる。 図書館を利用した調べ学習の推進と読書習慣の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の改善点を得て具体的に改善に取組んだ。 3年生の全商1級取得率は減少傾向(H29 44.2% H28 56.6%) 教科指導での図書館利用件数の増加傾向が定着(H27 60.H28 130.H29 105) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領改訂に向けた動きが始まる。改訂の方向性を見据えながら生徒理解を基本に授業改善を図っていく。 日商簿記検定については外部指導者活用の効果がでるよう改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と保護者からのわかりやすい授業と資格取得への要望は多い。よりより授業に向けて積極的に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートによると教員のわかりやすい授業について改善の余地がある。(肯定的回答30%)授業方法と学習成果を生徒視点で考察し改善していく。 ビジネスに係る専門的知識・技術を日常の学習と校外での実践的活動を通し習得させ商業高校としての役割を引き続き果たしていく。 学習活動や部活動、生徒会活動等で教員が生徒とじっくり向き合うことができる学校づくりを推進していく。
2	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の定着を図る。 本校開催のインターハイホッケー競技の成功に取組む。 地域活動に参加し地域活性化に貢献する。 生徒と教員の信頼関係を重視したいじめ防止。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の出席率は99.4%(H28 99.2%)、遅刻・早退も減少。 全校体制でインターハイに取組みホッケー部は全国5位の成果を収めた。 上杉祭り、雪灯籠祭りに学年単位で参加した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、遅刻指導に課題がある。全校的取組みで指導する。 「学校いじめ防止基本方針」を改訂し多様な生徒やネットいじめへの対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 登下校時の交通マナーの指導をしっかりとお願いしたい。 いじめに関して生徒の小さなサインを見逃さずにお願ひしたい。 	
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 計画的で組織的な進路指導で生徒の進路希望実現を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者は12月中に全員内定、進学希望者は個別指導でほぼ希望通り決定できた。 講演会やガイダンスの内容と時期を工夫し効果を上げた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 企業との情報交換を密にし就職活動のミスマッチが起きないようにする。 情報収集と周知、選抜資料のための情報蓄積など高大接続改革への対応を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 採用時に重視されるコミュニケーション能力の育成を大切にしてほしい。 就職後も離職せずにかんばること大切である。 	

自己評価及び学校関係者評価の改善点等	<ul style="list-style-type: none"> 教職員全体の授業力向上を図る取組を推進する一方で、学習指導要領改訂や高大接続改革の動向を踏まえ計画的かつ組織的に対応していく必要がある。 地域と結びついたキャリア教育や校外活動を推進し若者の地元定着につなげる必要がある。
--------------------	---

